

防災資機材を拡充しました

問い合わせ 総務グループ (☎⑤ 1 1 3 0)

市は令和7年に続き、国の交付金（地域未来交付金）を活用し、避難所における生活環境の改善を図るための資機材を導入しています。また、令和7年カムチャツカ半島沖地震の津波警報の対応における教訓を踏まえ、避難場所での暑さ・寒さ対策として、高台備蓄倉庫と多目的テントの整備を進めています。

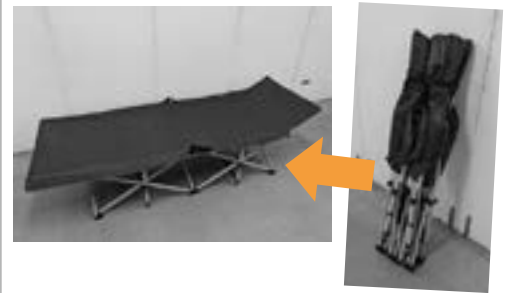
○避難所の更なる生活環境の向上に向けて

避難所での感染症対策のため、床面から一定程度の高さを確保し、砂やほこりの吸引を抑制することができる簡易ベッドなどを導入しました。また、避難所におけるプライバシー確保のため、パーティション（間仕切り）を引き続き拡充しています。

2年で導入した資機材の数

	段ボールベッド	簡易ベッド	パーティション
令和7年度	200台	200台	400張
令和8年度	—	100台	100張
備蓄計(※)	225台	400台	600張

※令和6年度以前に購入したものを含めた数。



▲ 1分程度で設置できる折りたたみ簡易ベッド

○避難場所の暑さ・寒さを防ぐために

津波災害をはじめ、災害が突発的に発生したときは、避難所が開設されるまでの間は屋外の避難場所で過ごすこととなります。避難場所で避難者の暑さ・寒さなどの負担を軽減するために市内5カ所に高台備蓄倉庫を新たに設置します。

今年は鷺別地区（鷺別1丁目広場）・新生地区（若草望洋広場）の2カ所に設置し、残りは令和9年度以降に順次設置を進めます。

高台備蓄倉庫には、暑さ・寒さ対策のための多目的テント2張、アルミシート100枚のほか、トイレ環境の整備のために簡易トイレ2台、トイレ用テント2張、携帯トイレ500個を備蓄します。

▶ 高台備蓄倉庫
若草望洋広場（左）、
鷺別1丁目広場（右）



○資機材の設置訓練など防災研修を実施しませんか

災害時には、避難所と避難場所で避難者自身が防災資機材を設置することが想定されるため、普段からの取り組みとして、市内に備蓄している資機材の使い方を知ることが重要です。市は、町内会や学校、団体、企業などの依頼に応じて、資機材の設置訓練や避難所運営訓練、災害に関する各種講話、意見交換会などの防災研修を実施しています。

防災研修を希望される方は、総務グループ（防災担当）にご連絡ください。研修内容はご要望に合わせた構成にすることも可能です。

北海印刷なら選択肢が広がります。

ホームページ PR映像制作 電子書籍 電子看板 生活情報誌 みてっネっ 印刷物 etc. ポスティング

北海印刷株式会社 Tel.0143-43-2121

売りたい 買いたい 貸したい 借りたい

不動産のことなら、当社におまかせください！

有限会社 磐山不動産企画

北海道知事免許証振(9)第690号

事務所移転のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。10月1日より下記住所へ移転いたしました。

新住所 〒059-0014 登別市富士町2丁目14番地1 ☎0143-85-5573

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。